

工作機械の設備監視と遠隔サポートを統合した新プラットフォーム 「SatelinC (サテリンク)」を提供開始

— 設備監視と遠隔サポートを統合し、製造現場のDXを支援 —

株式会社ソディックは、工作機械向け統合リモートサービスプラットフォーム「SatelinC (サテリンク)」の提供を開始しました。

「SatelinC」は、工作機械に搭載した専用サーバーを中核として、機械情報の監視、加工情報の閲覧、アラーム管理、保守情報管理、遠隔サポートを統合した工作機械向けサービスプラットフォームです。パソコン、タブレット、スマートフォンなどのWebブラウザから、機械の運転状況や加工情報をリアルタイムで確認でき、設備管理および保守業務の効率化を実現します。

■ 開発の背景：設備監視と保守支援の分断、セキュリティなどの課題を解決

近年、製造業では人手不足や熟練技能者不足への対応、設備稼働率向上、生産性向上を目的としてDXの推進が加速しています。一方で、工作機械の状態確認や保守対応は現場での確認が中心であり、設備監視と保守支援が分断されていることが課題となっていました。

また、工作機械の制御ネットワークを外部ネットワークへ接続することへのセキュリティ上の懸念から、遠隔活用が進みにくいという課題もありました。

これらの課題を解決するため、ソディックは工作機械専用サービスプラットフォーム「SatelinC」を開発しました。



「SatelinC」の画面

■ 対応機種

- ・ワイヤ放電加工機「AL シリーズ “i Groove + Edition”」
- ・形彫り放電加工機「AL シリーズ」

※対応機種は、今後拡大予定

■ 「SatelinC」の主な特徴

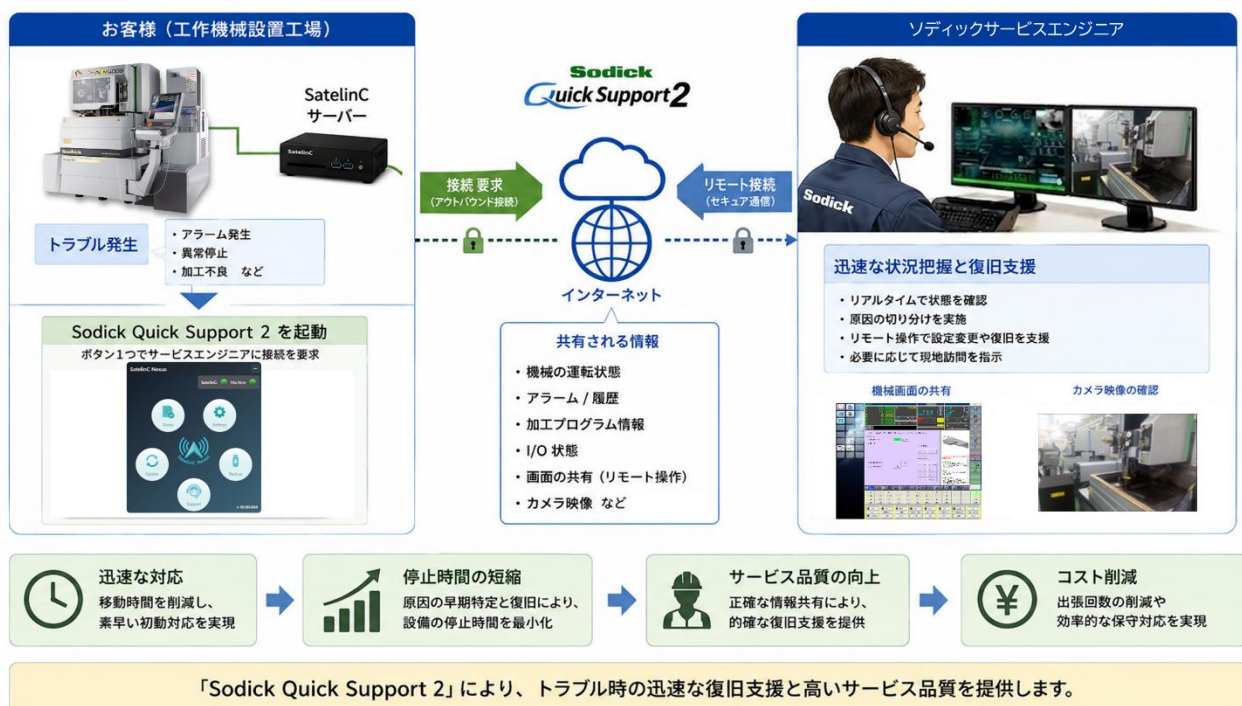
1. 工場内のどこからでも機械状態をリアルタイムに把握

工作機械に搭載した専用サーバーが取得した各種機械情報を、パソコン、タブレット、スマートフォンなどからリアルタイムで確認できます。現場へ移動することなく複数設備の状態を把握でき、設備管理業務の効率化に貢献します。



2. 設備監視と遠隔サポートを統合

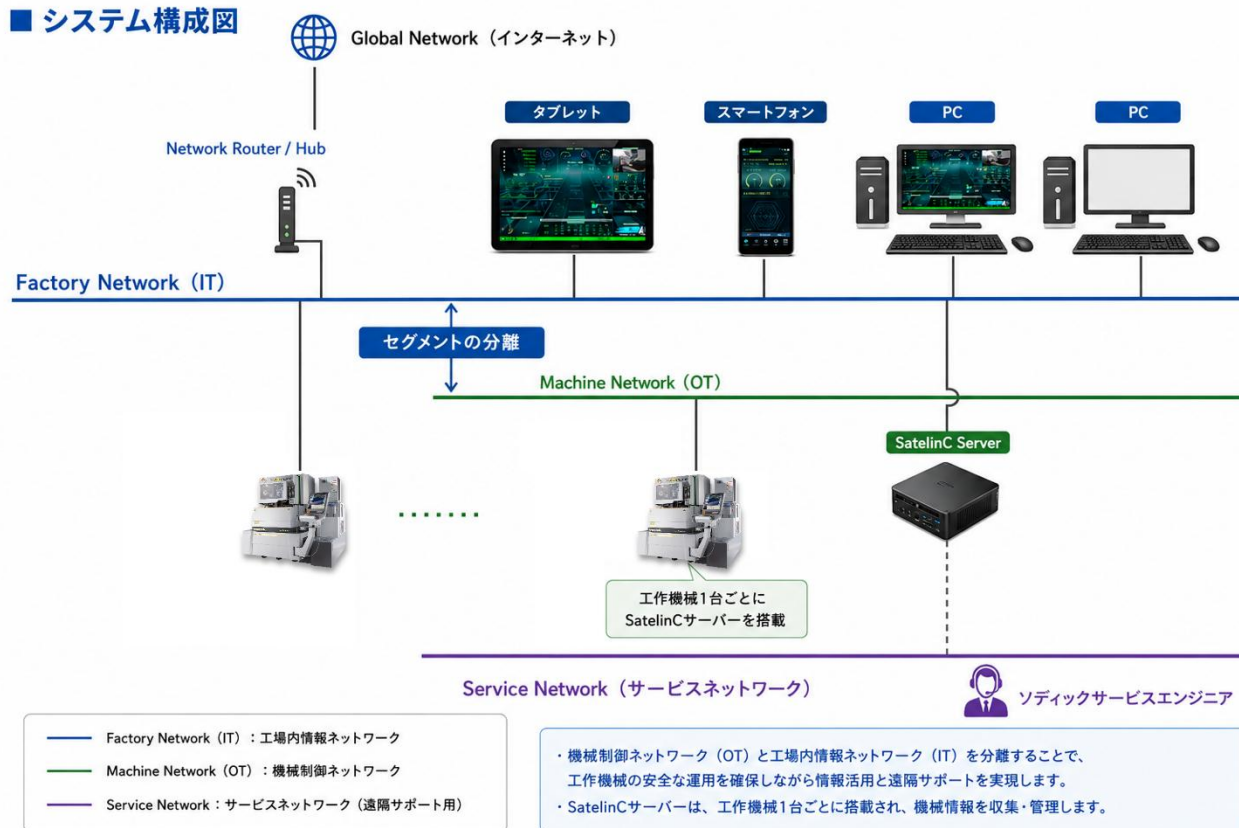
稼働状況、加工履歴、アラーム履歴、保守履歴、マニュアル情報を一元管理するとともに、遠隔サポート機能「Sodick Quick Support 2」と連携することで、サービスエンジニアによる迅速な遠隔支援を実現します。



3. 安全性に配慮したネットワーク構成

機械制御系ネットワークと情報活用ネットワークを分離し、工作機械の制御系へ外部から直接アクセスできない構成を採用しています。工作機械の安全な運用を維持しながら、設備情報の活用と遠隔サポートを実現します。

■ システム構成図



今後は対応機種種の拡大、機能強化を進めるとともに、海外市場への展開を予定しています。遠隔監視・遠隔サポートを通じて、製造現場のDX推進、設備稼働率向上、保守業務の効率化に貢献してまいります。

■ お問い合わせ先

株式会社ソディック 広報室 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111(大代表)

Mail: kouhoushitsu@sodick.co.jp

URL: <https://www.sodick.co.jp/>